

VOL. 4

八戸市

## 魅力ある講座の実践紹介！

## 「青年学級」

今回は、進展する社会に対応できる人間形成等をねらいとして展開している事業「青年学級」について、根城公民館館長の新井山 雅行さんから話を伺いました。この事業は、前身から数えて42年目を迎える大変息の長いものであり、その運営の工夫点等を聞きました。



## 今年度で42年目！

「青年学級」の開講は、昭和52年にまで遡ります。当時は「フェミニティースクール」という名称で「可憐で自主性のある賢い女性」、「一般教養の向上を図ること」を趣旨として開講しました。

平成15年からは、男女共同参画社会に対応する必要性から、「進展する社会に対応できる人間形成」、「实际生活に必要な技能の習得」、「一般教養の向上」を図ることをねらいとし、40歳未満の男女を対象としながら継続してきました。今年度で42年目を数え、受講生は延べ1,800名を超える息の長い講座となっています。

講座内容としては、健康、伝統芸能、食、救急救命、音楽など、多岐に渡っています。ユニークなところでは**ドローンの操作方法等を学ぶ講座**なども行いました。

また、昨年度までは、座学的な講座から始めることが多かったのですが、今年度は、受講生のひとりがファシリテーターを務める**アイスブレイク**を取り入れました。これにより、受講生同士の心がぐっと近づいたと感じました。

平成25年度からは、受講生が話し合っ講座の内容を決める自主講座を設け、企画、講師との交渉等、受講生自らが経験を積みながら運営をしています。予定の活動時間以外でも自分たちで時間を作り、企画の打ち合わせをすることもあります。

「青年学級」の成果として挙げられるのは、講座を通して、仲間づくりが進んでいることです。

また、「青年学級」の講座のいくつかを公開講座として、地域の方々にも参加を呼びかけることにより、青年学級受講生と地域の方々との交流が見られるようになってきました。さらには、公民館文化祭の会場準備や模擬店の手伝いなどを通じて、世代間交流も行われるようになってきています。

## 地域課題解決の方策としても

根城公民館は、八戸市中心部に隣接した第2種住居地域に位置しています。市立の小中学校の他、市立図書館の分室、市立博物館等の文化施設もあり、生活に便利な地域です。近年は人口減少傾向にありますが、世帯数は増加しています。結果として、地域の高齢化、世帯人数の減少、一人暮らし世帯の増加などの課題もあります。

青年学級自体のねらいを達成するとともに、ここで育まれた実践力が青年層の地域活動貢献へとつながるものと期待しています。それが、ひいては上記の地域課題解決の方策であるとも考えています。

この他にも「公民館活動教室」、「女性学級」、「高齢者教室」等、地域住民のニーズに応じた講座を開講しています。今後は、小学生親子対象の家庭教育講座や、地元高校や高専と連携した事業等学校と連携することで、地域の教育力の向上と地域づくりに貢献できるものと考えています。

開講時、アイスブレイクの様子から



ドローン操作講座の一コマ



【編集後記】受講生が早く緊張をほぐせるようにとアイスブレイクに力を入れたり、興味をもって受講できるようにと話題のものを取り扱ったりといった工夫や思いやりが、長く続く事業のコツであると感じました。(A)



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。